

平成28年4月28日

各 位

会 社 名 株式会社 三東工業社
代表取締役社長 奥田 克実
(JASDAQ・コード1788)
問い合わせ先
取締役管理本部長 矢森 貞行
Tel 077-553-1111

CLTを活用した建築物実証事業が林野庁の補助事業採択についてのお知らせ

当社は、林野庁の平成27年度地域材利用拡大緊急対策事業における木材の新規用途の導入促進事業においてCLTを活用した建築物の実証事業を応募し、採択されましたのでお知らせいたします。

1. 地域材利用拡大緊急対策事業とは

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、山村に広がる豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには地域材の需要拡大を図ることが課題となっています。平成27年の需要の内訳を見ると、木造一戸建住宅の着工の低迷から、林業の収益確保の主役であるA材の需要が減少しています。このため、地域材の良さを発信し需要を増大させるとともに、地域材を利用する木材関係者等が連携して行う取組等を総合的に支援し、山村地域の重要な産業である林業・木材産業を活性化させていく事業であります。

2. 木材の新規用途の導入促進事業とは

CLT建築の施工性のデータ収集等を目的とした建築物の実証、製材用材の利用価値を高める技術開発など地域の特性に応じた木質部材や工法の開発・普及等を行います。

3. CLTとは

CLTは、Cross Laminated Timberの略称で、ひき板を並べた層を板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネルとそれを使った建築方法を示す用語です。

CLTは1995年頃からオーストリアを中心として発展してきた新しい木質構造用材料です。

現在では、オーストリアだけでなくヨーロッパ各国でも様々な建築物に利用されており、また、カナダやアメリカでも規格作りや実際の建物が建てられるなどCLTの利用は近年になり各国で急速な伸びを見せています。

4. 当社の取り組み

当社は、持続可能な社会へ向けて、滋賀が目指す「低炭素社会の実現および琵琶湖環境の再生」に挑戦する経営方針より、滋賀県内に眠る森林資源の有効活用を図るため、昨今注目されているCLTの研究を進めてまいりました。

CLT建築の施工性データ収集等を目的として滋賀県甲賀市信楽町にある本店を新しい建材であるCLTで建て替えを行います。本店新築工事では、床、壁、屋根の構造材としてCLTを全面的に使用することにより、事務所建築という機能だけではなく、CLTという建材そのものの美しさ、使い方、デザイン性によってCLTの魅力を伝える建築となる事を目指します。

また、本建築で使用するCLTは「地産地消」として滋賀県産材を使用します。

5. 実証事業の期間(予定) 平成28年6月から平成28年10月

6. 今後の業績見通し

平成28年6月期の業績に与える影響は、現時点においては軽微となる見通しであります。

以上